

埼玉トヨペット Green Brave



2021 RACE REPORT

AUTOBACS SUPER GT Round 3

FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE

2021年8月21日(土)～22日(日)

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)

#52 埼玉トヨペット GB GR スーブラ GT

■ ■ ■ ■ 番場選手がスポットで出場も悔しい 18位チェッカー ■ ■ ■ ■

第3戦のレース距離は300km。チームは8月19日(木)、第2ドライバー川合選手の新型コロナウイルスの感染を発表。番場琢選手を起用し、第3戦に出場することになりました。番場選手にとって、2018年のマークX MC以来、3年ぶりのSUPER GT参戦。なお、川合選手はすでに回復し、療養期間を終えています。

予選日(土曜日)の天候は曇。番場選手には公式練習中のルーキーテストを義務付けられています。公式練習は9時から行われ、吉田選手が最初にコースイン。GR スーブラ GTには新たに66kgのサクセスウェイトが搭載されており、硬さの異なるタイヤを試しながら、マシンの調整を行います。吉田選手は14周目に1分59秒295(14位)のベストタイムをマーク。9時40分に赤旗が提示され、再開後の9時47分から番場選手が走行します。番場選手はぶつつけ本番ながら、安定したペースで17周を走行。ルーキーテストをパスし、本戦にコマを進めます。ノックアウト予選(Q1)のドライバーは吉田選手。

路面温度が予想以上に低いため、タイヤを温めながら周回を重ねます。吉田選手は2回目のアタックで1分59秒348をマークするも、A組10位。A、B両組合わせた正式結果は20位で、昨年の第7戦以来となるQ1ノックアウトとなりました。真夏の気温と路面温度に合わせて持ち込むタイヤを決めたものの、予想外の涼しさに大苦戦。GR スーブラ GTの目前にはランキング上位のチームが並んでいるため、ライバルの前でフィニッシュし、ポイントを獲得するのが目標です。

決勝日(日曜日)の天候は曇り。気温は上がっているものの、雨が降る可能性もあり、タイヤの性能をフルに発揮できる状況ではありません。チームはスタートドライバーに番場選手を起用。スタート直後の混戦を切り抜け、ミニマムの周回数(レース距離の3分の1)で吉田選手につなぐ計画です。2周のフォーメーションラップの後、レースはスタート。番場選手はスタート順位をキープして走行しますが、5周目にGT500のマシンがクラッシュ。コース上はFCY(フルコースイエロー)からSC(セーフティカー)の先導による隊列走行に切り替わります。SC先導中の9周目にピットレーンがオープンとなり、ピット作業のロスを少しでも減らしたいチームは、早々に1回目のピットインを決断。翌周に番場選手を呼び戻し、タイヤ交換と給油を行い、コースに送り出します。番場選手の順位は27位。12周目からレースは再開され、3分の1を過ぎた16周目の終わりに番場選手が再度ピットイン。短い給油とドライバーチェンジを行い、吉田選手をコースに送り出します。しかし、ピットインの際にピットロードでの速度違反があり、ドライブスルーペナルティの裁定が下ります。吉田選手は23周目の終わりにピットロードに入り、ペナルティを消化。順位は最後尾(28位)です。入賞は難しい状況ですが、吉田選手はあきらめずにライバルを次々とパス。わずか25周の間に10台抜きを見せ、18位でチェッカーを受けました。次戦は9月11日～12日、スポーツランドSUGOで行われます。

決勝結果(GT300)

#52 埼玉トヨペット

Green Brave GR スーブラ GT

(吉田広樹/番場 琢)

決勝: 18位

(48周、1時間50分51秒917)

予選: 20位

(Q1A組10位、1分59秒348)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	たかのの湯 GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	49
2位	JLOC ランボルギーニ GT3 (ランボルギーニ ウラカン GT3)	49
3位	グッドスマイル 初音ミク AMG (メルセデス AMG GT3)	49
4位	PACIFIC NAC CARGUY Ferrari (フェラーリ 488 GT3)	49
5位	マッハ車検 GT NET MC86 マッハ号 (トヨタ 86 MC)	49
6位	TOYOTA GR SPORT PRIUS PHV apr GT (トヨタ GR スポーツ プリウス PHV)	49
18位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	48

天候: 曇 路面: ドライ ※トップ6まで(出走28台)



DRIVERS VOICE

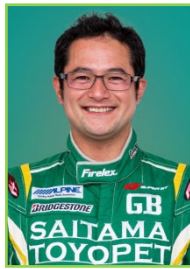
吉田広樹選手



(予選後) 正直そんなにミスっていないし、うまくとめられたと思います。ミスなく走ってこの順位なので仕方がないと思います。路面温度が40〜50度になることを予想してタイヤを選んでいたのに、こんなに涼しい状態で予選を走っているとは思っていませんでした。チャンピオン争いをしているチームが自分たちのグリッドのまわりに結構いるので、明日はそこの人たちとどう戦うかに切り替えるしかないと思います。

(決勝後) 順位を上げようと必死でした。応援してくれている人はもちろんいるし、メカニックも一生懸命やってくれたので、できる限りベストを尽くしました。上位が難しくても、マイレージを稼いでタイヤを評価することはできるので、そういう気持ちで走りました。他チームのGR スーパ GT が優勝しているのが悔しいです。まだ半分しか終わっていないので、後半戦に向けてしっかり立て直します。

番場 琢選手



(予選後) マザーシャシーとは全然違うダウンフォースレベルのクルマに乗るのは初めてですが、クルマはすごく安定しています。吉田選手もアドバイスしてくれるし、チームのみんなも支えてくれているので、ちょっとずつクルマに慣れていっているという状況です。無理はしませんが、みんなの期待に応えられるように、できる限り、自分のポテンシャルをチームのために発揮できればと思っています。

(決勝後) 朝のウォームアップでも、私がクルマに慣れるためにチームが自分に時間をさいてくれました。すごく感謝しています。レースは荒れた展開となり、途中まで一歩先行く作戦ですごく良かったのですが、ドライバー交代のピットインの際にピットレーン速度違反があり、大きくロスしてしまいました。自分のミスが悔やまれます。代役としての参戦でしたが、チームのみんなに申し訳ない気持ちでいっぱいです。



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	244	Max Racing	46
2位	56	KONDO RACING	37
3位	65	K2 R&D LEON RACING	37
4位	60	LM corsa	35
5位	11	GAINER	34
6位	2	muta Racing INGING	32
8位	52	埼玉トヨペット Green Brave	32

トップ6まで



PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



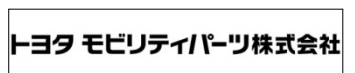
株式会社 Team Iwakiri Japan



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ドーム



株式会社デイトナ・インターナショナル



株式会社ハッピーライフ彩生

※50 音順

【次戦予告】 第5戦 9月11日〜12日 スポーツランド SUGO (宮城県村田町)